

就学前表紙作成の意図

「お絵描きして遊んでいた1歳の子ども。

お絵描きの様子を後方から眺めていた私が、『わー、すごーい』と拍手。

私の反応を感じ取って、振り向いて私に視線を向け『ほほえみ』を浮かべる「子ども」。

その瞬間を絵にしました。

1歳の子どもは、体を絵（なぐりがき）に向け、視線を私に向けています。

「子ども」と「絵」と「他者」が双方向に作用し合い、子どもなりに新たな意味や価値を学んでいる瞬間です。子どもの「遊びの中の学び」の場面を描きました。

人物を白黒で描いたのは、髪の色や肌の色、人種など、いろいろな子どもに当てはまるように考え、色を限定しませんでした。

背景は、遊びの中で学びを獲得する瞬間のイメージを抽象的に描き組み合わせています。

フレーベルが、『子どもが遊ぶ姿は生涯にわたって人が生きる全生活の若芽である』と述べているように、子どもの遊びは生きることそのものです。

この絵は、そんな「遊びの中の学び」について考え、全ての子どもたちが安心して遊び、学ぶことができる世界になるよう願って描きました。

